

東海道新幹線



東海道新幹線

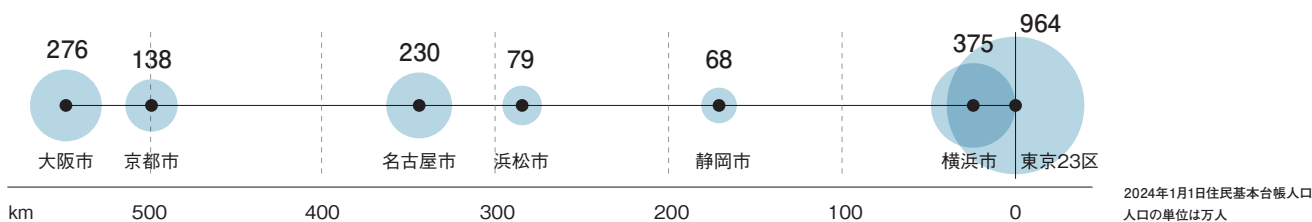
世界初の高速鉄道、「東海道新幹線」。東京～新大阪間を結ぶ東海道新幹線は、1964年東京オリンピック開会直前の10月に開業しました。

この路線は東京・名古屋・大阪の3大都市圏を、一日あたり372本（2023年度実績、臨時列車を含む）の高頻度運行で結び、年間約1億

6,000万人（2023年度実績）が利用する日本屈指の交通の大動脈です。日本を代表する新幹線として開業以来約68億人を輸送し、日本経済の飛躍的な発展を支えてきました。現在はJR東海が運営しています。

2015年春には最高速度が285km/hに引き上げられ、さらに利便性が向上しました。東海道新幹線は今なお進化を続けています。

沿線主要都市の分布

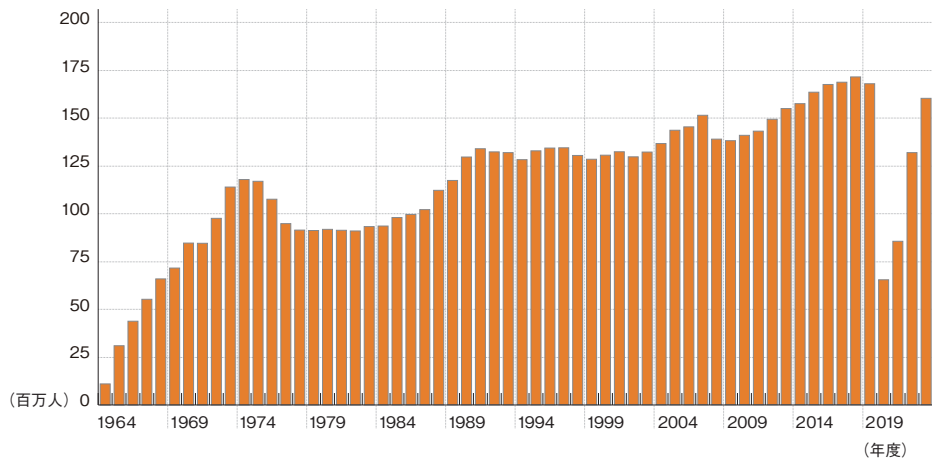


基本情報

営業区間	東京～新大阪
開業年月	1964年10月
営業キロ数	552.6 km
営業最高速度	285 km/h
最短所要時間	2時間21分
列車本数	372本/日（臨時列車含む） 東海道・山陽直通列車含む※
駅数	17

2024年3月時点

開業時からの輸送人員推移



山陽新幹線

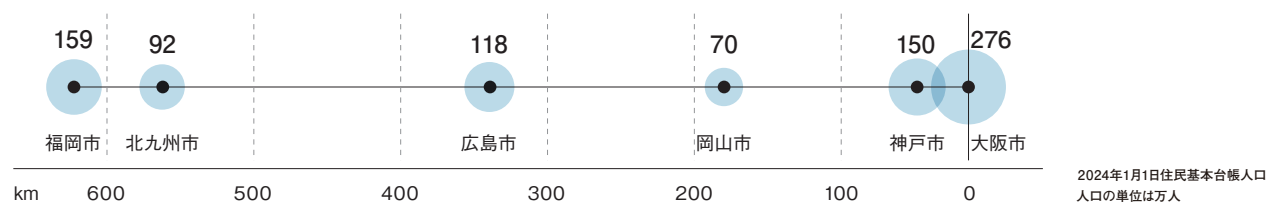


山陽新幹線

現在JR西日本が運営する「山陽新幹線」は1972年3月に新大阪～岡山間で開業し、1975年3月に博多までの全線が開通しました。この路線は西日本の中心である大阪と、西日本の各都市、九州の中心都市福岡を結び、東海道新幹線とともに、日本の製造業が

集積する太平洋ベルト地帯の大動脈を担う路線として年間約7,000万人(2023年度実績)が利用しています。また、2011年3月の九州新幹線の全線開業とともに相互直通運転を開始し、関西・中国地方と九州との間で新たな人の流れを生み出しています。

沿線主要都市の分布

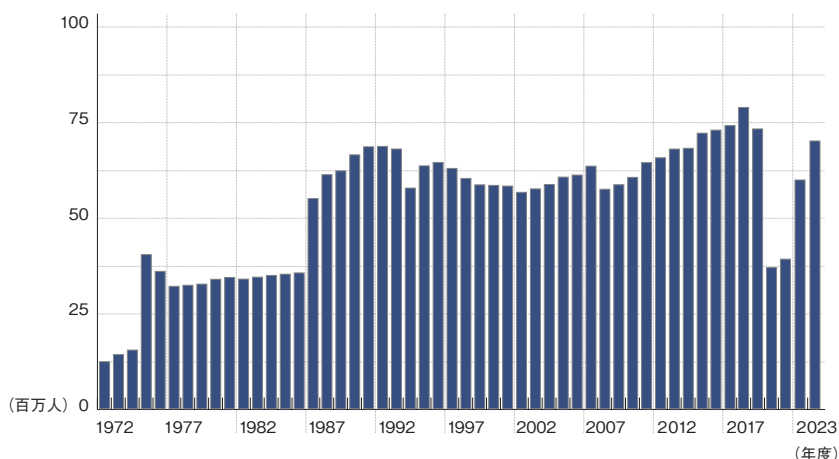


基本情報

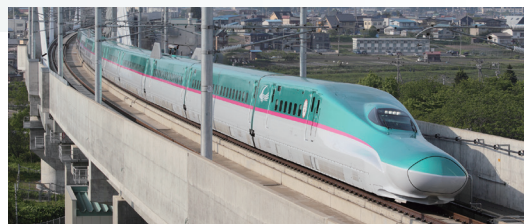
営業区間	新大阪～博多
開業年月	1972年3月(新大阪～岡山) 1975年3月(岡山～博多)
営業キロ数	644.0 km
営業最高速度	300 km/h
最短所要時間	2時間21分
列車本数	258本/日(臨時列車除く)含む 東海道・山陽直通、及び山陽・九州直通列車含む※
駅数	19

2024年3月時点

開業時からの輸送人員推移



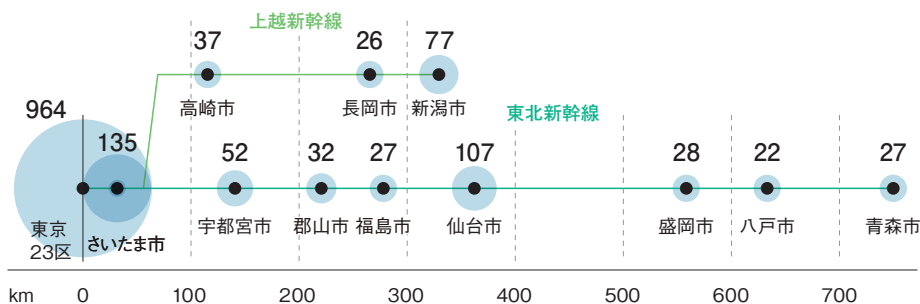
東北・上越新幹線



東北・上越新幹線の2路線は現在JR東日本により運営されています。「東北新幹線」は、東京～新青森間を最高時速320Kmで走行する日本で最速の新幹線です。1982年6月に大宮～盛岡間が、そして2010年12月に全線が開通。東京から東北地方の中心地である仙台を経由して青森へと東日本を南北に縦断し、年間約8,100万人（2023年度実績）が利用しています。

「上越新幹線」は東京～新潟間という世界有数の豪雪地帯（新潟県内）を走る新幹線で、1982年11月に大宮～新潟間が開業して順次延伸し、1991年6月に全線が開通。年間旅客数は約3,900万人（2023年度実績）。この路線は融雪設備を備えているほか、新潟県内の駅では線路・プラットフォーム全体が屋根で覆われているなど、雪害対策が入念に施されています。

沿線主要都市の分布



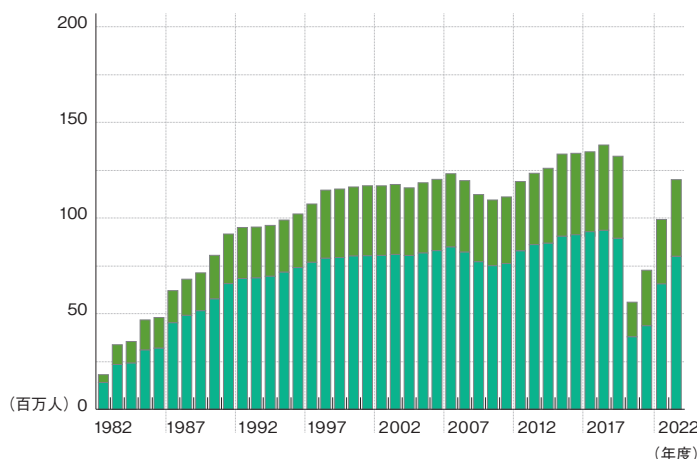
2024年1月1日住民基本台帳人口
人口の単位は万人

基本情報

	東北新幹線	上越新幹線
営業区間	東京～新青森	東京～新潟
開業年月	1982年 6 月（大宮～盛岡:東北） 1982年11月（大宮～新潟:上越） 1985年 3 月（上野～大宮:東北・上越） 1991年 6 月（東京～上野:東北・上越） 2002年12月（盛岡～八戸:東北） 2010年12月（八戸～新青森:東北）	
営業キロ数	713.7 km	333.9 km
営業最高速度	320 km/h	275 km/h
最短所要時間	2時間58分	1時間29分
列車本数	177本/日 (臨時列車除く)※	74本/日 (臨時列車除く)※
駅数	23 ※一部重複あり	12 ※一部重複あり

2024年3月時点

開業時からの輸送人員推移



九州・西九州新幹線



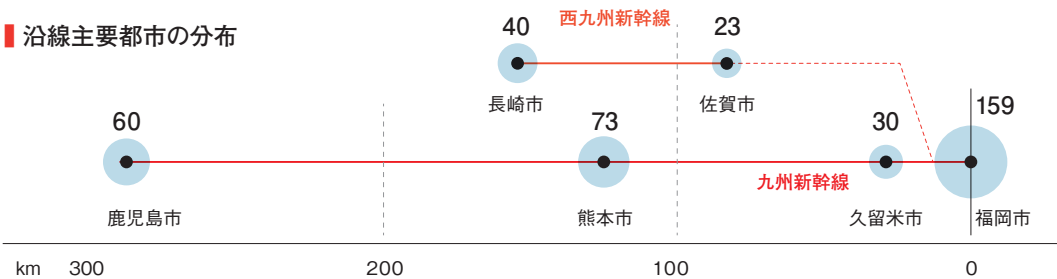
西九州新幹線

JR九州が運営する「九州新幹線」は、2004年3月に新八代～鹿児島中央間が、そして、2011年3月に博多までの全線が開業しました。これにより、新大阪～鹿児島中央間は約5時間から約3時間42分と、関西～九州間の所要時間が大きく短縮され、これにともない関西～九州間での航空利用から鉄道利用への移行が進みました。年間約1,600万人（2023年度実績）が利用する九州地方の重要な交通機関となっています。

また、西九州新幹線の武雄温泉～長崎間、66kmは2022年9月に開業し、沿線のまちづくりが進んでいます。



沿線主要都市の分布



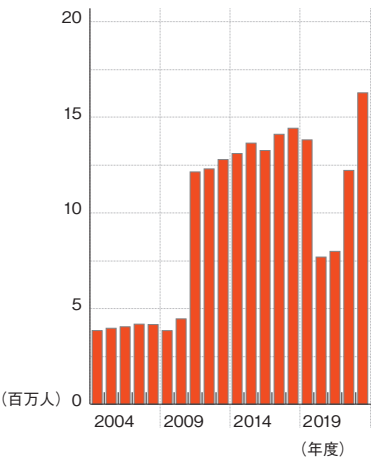
2024年1月1日住民基本台帳人口
人口の単位は万人

基本情報

	九州新幹線	西九州新幹線
営業区間	博多～鹿児島中央	武雄温泉～長崎
開業年月	2004年3月(新八代～鹿児島中央) 2011年3月(博多～新八代) 2022年9月(武雄温泉～長崎)	
営業キロ数	288.9 km	69.6km
営業最高速度	260 km/h	260 km/h
最短所要時間	1時間16分	23分
列車本数	105本/日 ※互直通運転する4往復8本の臨時列車 (現在は毎日運転)を含む	武雄温泉～長崎 44本/日 新大村～長崎 3本/日 計47本 (臨時列車除く)
駅数	12	5

2024年3月時点

開業時からの輸送人員推移



A high-speed train, likely a Shinkansen, is shown traveling on a track. The train is white with blue and red accents. It is moving towards the right side of the frame. The background shows a hilly landscape with some trees and a clear sky.

[illegible]

都道府県	最大の人口の市の市庁所在地から都道府県庁までの距離 (km)	最大の人口の市の人口 (万人)
敦賀市	6	6
福井市	26	26
金沢市	44	44
富山市	41	41
長野市	37	37
高崎市	37	37
さいたま市	135	135
東京23区	964	964

2024年1月1日住民基本台帳人口
人口の単位は万人

営業区間	東京～敦賀
開業年月	1982年11月（大宮～高崎） 1985年 3月（上野～大宮） 1991年 6月（東京～上野） 1997年10月（高崎～長野） 2015年 3月（長野～金沢） 2024年 3月（金沢～敦賀）
営業キロ数	575.8km
営業最高速度	260km/h
最短所要時間	3時間8分
列車本数	81本/日
駅数	24

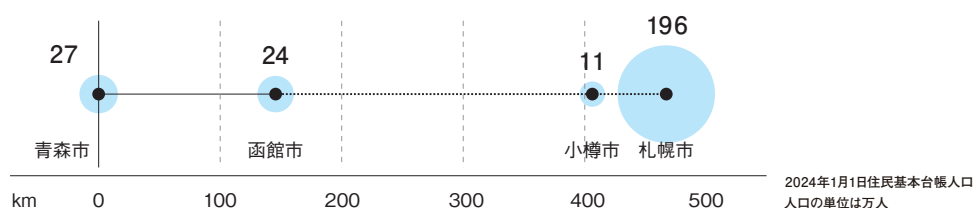
Year	Number of People (in millions)
1997	5
1998	8
1999	8
2000	8
2001	8
2002	8
2003	8
2004	8
2005	8
2006	8
2007	8
2008	8
2009	8
2010	8
2011	8
2012	8
2013	9
2014	35
2015	34
2016	35
2017	38
2018	35
2019	10
2020	15
2021	28
2022	32

北海道新幹線

JR北海道の運営する「北海道新幹線」は、2016年3月に新青森～新函館北斗間が開業しました。東北新幹線と相互直通運転を行い、東京～新函館北斗間を最短3時間57分で結んでいます。また、新函館北斗～札幌間の約212kmについて、2031年春の開業を目指し、整備が進められています。北海道新幹線の開業により、北海道と東北地方、そして首都圏の観光・ビジネス交流などの活発化や、旅客の流動増加が期待されています。



沿線主要都市の分布



基本情報

営業区間	新青森～新函館北斗
開業年月	2016年3月 (新青森～新函館北斗)
営業キロ数	148.8km
営業最高速度	260km/h
最短所要時間	57分
列車本数	26本/日 [※]
駅数	4

2024年3月時点

開業時からの輸送人員推移

